

現認證明書

本籍地

新尾部隊 曉三九四部隊

階級 陸軍上等兵 氏名

一 死亡年月日時

昭和十年七月十八日十一時

分

一 死亡場所

北島山ノ一島ノ三ノ北方十里地矣

一 死亡区分

戦死

一 傷(病)名

ケリヲ敵機胸部被貫通

一 死亡當時状況

右現認ス

昭和三年

月廿八日

現認者

陸軍少佐

吳長

9-11

死亡事實(現認)證明書

本籍地

[Redacted]

現任所

九月

所属部隊

五回五方隊

徵集年月日

氏名

官等

[Redacted]

18-10

有ノ者昭和二十年一月十八日五時

三十分分隊ヲ於テ襲撃ヲ受テ依リ戰傷死

病死シタルコトヲ證明(現認)ス

昭和二十一年五月二十日

所属部隊及至奉職名命森人三平

官等級位中隊長

氏名

[Redacted]

注意 一、死亡地點、受傷部位、病名等判明シアルモノハ詳記ス
一、職名ハ中、小隊長、班長、班員等ヲ詳記ス

現認證明書

本籍地
所屬部隊

陸軍 死亡前上等兵
死亡後

年 月 日生

一 役種 兵種 年次 現役 野砲兵

一 死亡年月日 昭和九年三月廿一日 (推定)

一 同 場 所 比島北野第... 戦死

一 同 因 戦死

一 死事由又病名及
現認事由(推定)

一 遺骨の有無 無し

一 遺族の現住所
氏名

昭和九年三月廿一日

現認者

本籍地
階級氏名

伍長

死亡者	復	歴
年月日	配	事
昭和九年三月廿一日	下等兵	野砲兵
比島北野第...		

185-11

現認證明書

本籍地

併属部隊

(通称)

徵集年

昭和三十二年

昭和三十二年

死亡区(傷病名)

死亡区(傷病名)

死亡区(傷病名)

昭和三十二年

(昭和三十二年)

昭和三十二年

昭和三十二年

昭和三十二年

昭和三十二年

昭和三十二年

昭和三十二年

台正に現認し證明す

昭和三十二年三月五日

現認者(所属部隊通称)

現住所

旧職官等(陸軍上等兵)

(昭和三十二年)



昭和二十三年		二月		二十		日	
整理番		所屬部隊		固有名		死亡者調査表	
徵集年		種		級等		死亡時の官	
留守		現住所		死亡年月日		死亡場所	
増徴者		固有名		死亡年月日		死亡場所	
死亡年月日時		死亡年月日時		死亡年月日時		死亡年月日時	
死亡原因		死亡原因		死亡原因		死亡原因	
死亡直前の職務		死亡直前の職務		死亡直前の職務		死亡直前の職務	
料		手		入		料	
現住所		現住所		現住所		現住所	
所屬部隊		所屬部隊		所屬部隊		所屬部隊	
氏名		氏名		氏名		氏名	
階級		階級		階級		階級	
未歸還		未歸還		未歸還		未歸還	
無		無		無		無	
存		存		存		存	
第九〇七號		第九〇七號		第九〇七號		第九〇七號	

〇〇〇本表中捺印の欄以外は第一世階級にて記入すること
 〇〇〇記載上の注意並に原簿欄は裏面にあり(記載上の注意をよく読んでから記入の事)
 〇〇〇不備事項中判別しあるものは各所にて朱訂すること

昭和二十三年 二月 二十日
 民生部第一世階級

官

陸軍

功認(事實)証明書

本籍

部隊名 臨時勤務指揮班() 二等兵

一 死之年月日 昭和三年一月三日

一 死之場所 比島サンフレランド

一 死之正分 戦死

一 當時ノ状況 ケリラ、進出ハ積極的トテタル為當部隊、一回、討

伐ニ力セタリ 部落燬行、為 部落、火ヲ藏 放ツ処ヲ 格闘銃、一着射

撃ニ合、腹ヲ貫通シ、死スル 最後ナリ

右ノ通証明ス

昭和三年一月三十日

元 歩五四五大隊 陸軍上等兵

印

現認(死亡)証明書

者 明 証 昭 和 23 年 5 月 12 日 右 證 明 候 也 地方世話部長 殿 陸軍大臣 官等署名印	者 亡 死 死 亡 時 間 昭 和 20 年 1 月 22 日 午 後 時 分 戦 死 昭 和 23 年 1 月 22 日 午 後 時 分 敵 軍 手 中 後 入 の 際 特 別 斬 込 戦 死	發(受)病(傷)年月日 昭 和 年 月 日 推 士 官 以 上 任 官 年 几 日	死 亡 區 分 傷 病 名	死 亡 場 所 マ ラ ラ 市	所 屬 部 隊 船 舶 工 兵 第 三 四 隊	因 有 名 船 舶 工 兵 第 三 四 隊	種 役 兵	年 集 團 船 舶 工 兵 第 三 四 隊	級 等 官 前 亡 死	後 亡 死	名 氏 曉 美 一 五 七 四 部 隊	通 稱 號	生 年 月 日	和 年 月 日 地 方 世 話 部
					遺 留 品 有 無	遺 骨								

56-10

大正十一年資料

世大世清

新原部隊 固有名義者 兵隊 五〇四六部隊

通稱名 威才一七六六二部隊

兵長

部隊 隊才二小隊才一今隊長としてリンガエ湾附近

の戦いに参加 一月二十三日午前九時胸部貫通銃創にて戦死す 遺骨 遺品なし

威才一七六六二部隊

流

實業部

飛行第七十四隊

死亡年月日 昭和二十年一月二十四日

死亡場所 比島呂宋ヶ丘 飛行場下谷

死亡理由 砲撃後 機友ニ墜ル

死亡理由 砲撃 破片ハラ部ニカサレ

名 現

飛行第七十四隊



49-12

死亡現認證明書

死者	死亡	著	現認	老認	証式
死者姓名	死亡年月日	死亡場所	遺明年月日	所屬部隊名	証式上ノ注意
陸軍一等兵	昭和二十一年一月二十四日	戦死		陸軍一等兵	
木着地					
死亡年月日					
死亡区分					
死亡場所					
傷病名					
遺骨遺明品状態					
現認事由					
證明年月日					
所屬部隊名					
官等級兵科					
現住					

本証式は、戦死者の遺骨や遺品が確認された場合、または戦死の事実が明らかになった場合に発行される。証明書の発行には、関係機関からの情報が必要である。

現認證明書

本籍地
現住所

所屬部隊

官氏名

死亡場所

死亡區分

死亡日時

死亡傷(病)名

留守擔當者住所

續柄氏名

右證明する



昭和二十二年四月廿五日

現認者住所

元所屬官氏名 比島 渡辺 振武 集本團

陸軍衛生部

右同

比島 渡辺 軍 振武 集本團

步兵(一等兵)(死亡前)

比島 マリキナ元 大隊 野理室 於

戦病死

昭和十二年一月五日

赤痢

[Redacted]

文

各團 野理室 於 大隊 野理室 於

22

5

寫

現認(事實)證明書

本籍地

所屬部隊 固有名姓  才 隊 通 稱 名 

役位年

空種

兵種

官等級 昭和



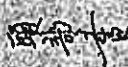
年

月

日 發令氏名



年 月 日生

- 一、死亡年月日時分 昭和 年 月 日 時 分
- 二、死亡原因及傷名 
- 三、死亡場所 
- 四、死亡状況 

- 五、遺物及貴重品の有無
並に戸籍(状況)
- 六、死亡に関する書類の有無

右の通り相違ない事を証明する

昭和 年 月 日 元所屬部隊(固有名)

(通稱名) 

現住所

再認官等氏名 

- 一、死亡者本籍地
- 二、再認官等者の
住所(氏名)

右の通り相違ないことを証明する

昭和 年 月 日

縣

郡

村町市
長

面

現認證明書

比島派遣隊第一二二部隊

隊

陸軍上等兵

右者昭和三年一月三日ルソン島共都山中ニ於テ

マラリヤニ依リ戦死(戦病死)トシテ現認ス

昭和二年八月五日

現認者元 旭 第一二二部隊 陸軍 兵長

階級

現在所

氏名

印



18-11